



Fashion Channel News

- September, 2017 -

- #1463 2017-18 Fall/Winter PARIS MEN'S COLLection part3
[収録ブランド] オフ・ホワイト c/o ヴァーゼル・アプロー / ポール・スミス /
ピガール / リック・オウエンス / リンシュウ
- #1464 2017-18 Fall/Winter PARIS MEN'S COLLection part4
[収録ブランド] サカイ / トム・ブラウン . ニューヨーク / ヴァレンティノ /
ホワイトマウンテニアリング / ワイ / プロジェクト
- #1465 2017-18 Fall/Winter NEW YORK COLLection part1
[収録ブランド] サカイ / トム・ブラウン . ニューヨーク / ヴァレンティノ /
ホワイトマウンテニアリング / ワイ / プロジェクト
- #1466 2017-18 Fall/Winter NEW YORK COLLection part2
[収録ブランド] マーク・ジェイコブス / マイケル・コース・コレクション /
オスカー・デ・ラ・レンタ / プロエンザ・スクーラー / パブリック・スクール



7-17-14 Roppongi Minato-ku Tokyo 106-0032
TEL. 03-3746-3323 FAX. 03-3408-5549
URL. <http://fashionnews.co.jp> E-MAIL. info@fashionnews.co.jp

Collection

#1463-#1464

オーバーサイズとスリムストレート。シルエットが二極化
2017-2018 秋冬 パリメンズコレクション



マウンテンパーカやダウンコート、MA-1、カモフラージュ柄のセットアップなど、アウトドアアイテムが多数提案された2017-2018秋冬メンズコレクション。ここ数シーズン続くオーバーサイズ傾向は、ムートン、ローゲージニット、ダウンといったボリュームのある素材と相まって一層拍車がかかっている。コクーンシルエットやラグランズリーブが目立ち、肩回りが巨大に進化しているのが特徴だ。その対極にあるのはブリティッシュトラッド。オーバーサイズ化に異を唱えるような極限までタイトなシルエットのフォーマルスーツもトレンドに浮上した。基本のシルエットはスリムストレート、またはリラクステーパード。指先まですっぽりかくれる長い袖、故意にずらしたボタン位置など、ちぐはぐに見えるディテールも登場している。番組ではミラノメンズからメンズファッション見本市「ピッティ・インマージネ・ウオモ」5ブランドを加えた26ブランド、パリメンズから22ブランドを厳選して紹介する。



パリメンズで見逃せないのはハイダー・アッカーマン (Haider Ackermann) がクリエイティブ・ディレクターに就任して初のコレクションとなった「ベルルッティ (BERLUTI)」。チェスターコートやダブルブレストのセットアップスーツなど正統派のメンズテラードを追求。チェスターコートは上衿のみオレンジやブルーのファーで飾ったり、ジャケットには光沢感のあるサテンやベロアを採用するなど、メンズエレガンスのエッセンスを随所にちりばめた。

パリメンズコレクションの最後を飾った「ケンゾー (KENZO)」はブランドとして初めてメンズ・ウィメンズの合同ショーを披露。ブルー、イエロー、レッドといった原色使いとアニマル柄、幾何学柄など多様な柄とを織り交ぜ、インパクトのあるスタイルを提案した。マウンテンパーカやダウンコート、MA-1、ミリタリーパンツなどスポーティーなアイテムを色・柄・ハイテク素材を駆使し近未来的なスタイルに落とし込んでいる。ジャケット on ジャケット、番手の異なるニットとニットチュニックの重ね着など、アイデア満載のレイヤードも要チェック！

Collection

#1465-#1466

ファッションで表現する「DIVERSITY(多様性)」とは？ 2017-2018 秋冬 ニューヨークコレクション



トランプ政権誕生はニューヨークのファッション業界にも大きな影響を与えている。2017 春夏シーズン、ニューヨークのデザイナーたちがこぞってテーマに掲げたのは多様性文化を意味する「DIVERSITY(ダイバーシティ)」。“See Now Buy Now”を新たに導入したり、メンズとウィメンズのコレクションを同時に披露する動きが広がるなど、コレクションの提案方法もバラエティーに富んでいる。



最も注目したいのは Raf Simons(ラフ・シモンズ)がチーフ・クリエイティブ・オフィサーに就任して初めてのシーズンとなった「CALVIN KLEIN COLLECTION(カルバン・クライン・コレクション)」。星条旗モチーフをあしらったスタイルやカーボーイルック、デニム、キルティングなどアメリカ文化の象徴を随所にちりばめた。開拓使を連想させるカーボーイシャツやウエスタンブーツ、デニムのセットアップ、マーチングバンドのユニフォームを連想させるパンツルックはまさにアメリカへオマージュと言えるだろう。



一方、「MICHAEL KORS COLLECTION(マイケル・コース・コレクション)」はさまざまな体格や年齢のモデルを起用することで民族多様性をアピール。肩幅を広く取ったテーラードコートや毛足の長いゴージャスなファーコートでニューヨークのパワフルウーマンを印象づけた。アウターはマニッシュなシルエットを強調しながらも、中に着ているドレスには深く切り込んだスリットやドレープ、フリンジを飾り、ゴールドやシルバーのラメ素材を多用するなど、エレガントな要素をプラスしている。

そのほか、来シーズンより発表の場をパリに移す「PROENZA SCHOULER(プロエンザ・スクーラー)」(デザイナー: Jack Mc Collough[ジャック・マッコロー]、Lazaro Hernandez[ラザロ・ヘルナンデス])のコレクションもお見逃しなく！